

学級活動（1）指導案

1 議題名 学級の志を考えよう パート2

2 議題について

本学級は、男子〇名、女子〇名、計〇名である。学級全体としては、明るく素直で、はじめてのことに一生懸命取り組もうとする児童が多い。入学当初、友達に声をかけられず一人で休憩時間を過ごす児童や就学前から仲のよかった友達とばかり過ごす児童もいた。学級遊びや学習での関わりを通して、少しずつ友達との関わりが増え、仲良く過ごせるようになってきた。班の友達が学習で困っていると教えてあげたり、一人で過ごしている友達を見つけると遊びに誘ったりするなど学級の友達を大切に想う姿が多く見られる。自分の考えを発表することに自信が持てず声が小さくなる児童や、挙手することができない児童がいる。そこで、ペア学習を取り入れ、二人で相談することで自信を持って発言できるよう支援している。話を最後まで聴く力の弱い児童も多く、話し合い活動においても、自分の発言が終わると姿勢が崩れ話を聞くことのできない児童がいる。友達の話をしっかり聞くことは友達を大切にすることだと伝え、指導を続けている。みんなと一緒に頑張れる、みんなと一緒に楽しく感じられる仲間を目指したい。

本議題は学級のめあてである志の内容を決めるものである。前期は、休憩後の授業開始時刻を全員が守り花丸を15個にすることを志として取り組んだ。10月に志を達成したことで花丸カラオケパーティーを行った。学級のみんなが1つのことに向かい、達成できたという自信と達成感を味わうことができた。今回は、新たな学級の志について話し合う。前回の経験から新たな志への意欲が高まっており、児童にとって話し合いたい内容となっている。また、今回決まったことが達成できたら2度目の花丸パーティーを開き、学級の友達と力を合わせて取り組むことの大切さや喜びを実感することができると考え、本議題を設定した。

指導にあたっては、まず提案者である児童から提案理由を話させる。その際、学級目標を示し、みんなが仲良く安心して過ごせる学級を作るための話し合いであることを確かめ、話し合いが議題からそれないようにしたい。話し合いの内容を理解させ、事前に学級会カードに自分の考えを書いておき、意欲的に話し合いに参加できるようにしたい。話し合いでは、話している人を視覚的に捉えられるよう、トーキングスティックを用いる。志でどのようなことに取り組みたいか意見を出す段階では、全員が発言することを目指す。発言しにくい時はパスも認めることで安心して発言できるようにしたい。司会団は学級委員を中心に組み、進行の手引きを見ながら取り組ませるが、適宜教師が関わる。近くの友達との相談の時間をとることで集団としての意思決定を支援したい。板書については、短冊を操作しながら教師と一緒に活動させ、話し合いの過程がわかるよう、可視化していく。話し合いの後は、自分達で決めたことを振り返らせ、達成に向け学級で頑張っていくという意欲の向上を図るとともに、自分達で話し合っただけで決めることの良さを実感させ、今後の話し合い活動の意欲を高めたい。

3 活動のねらい

学級の志を考えることを通して、学級としてのまとまりや友達とのつながりを感じさせ、達成に向け努力しようとする意欲の向上を図る。

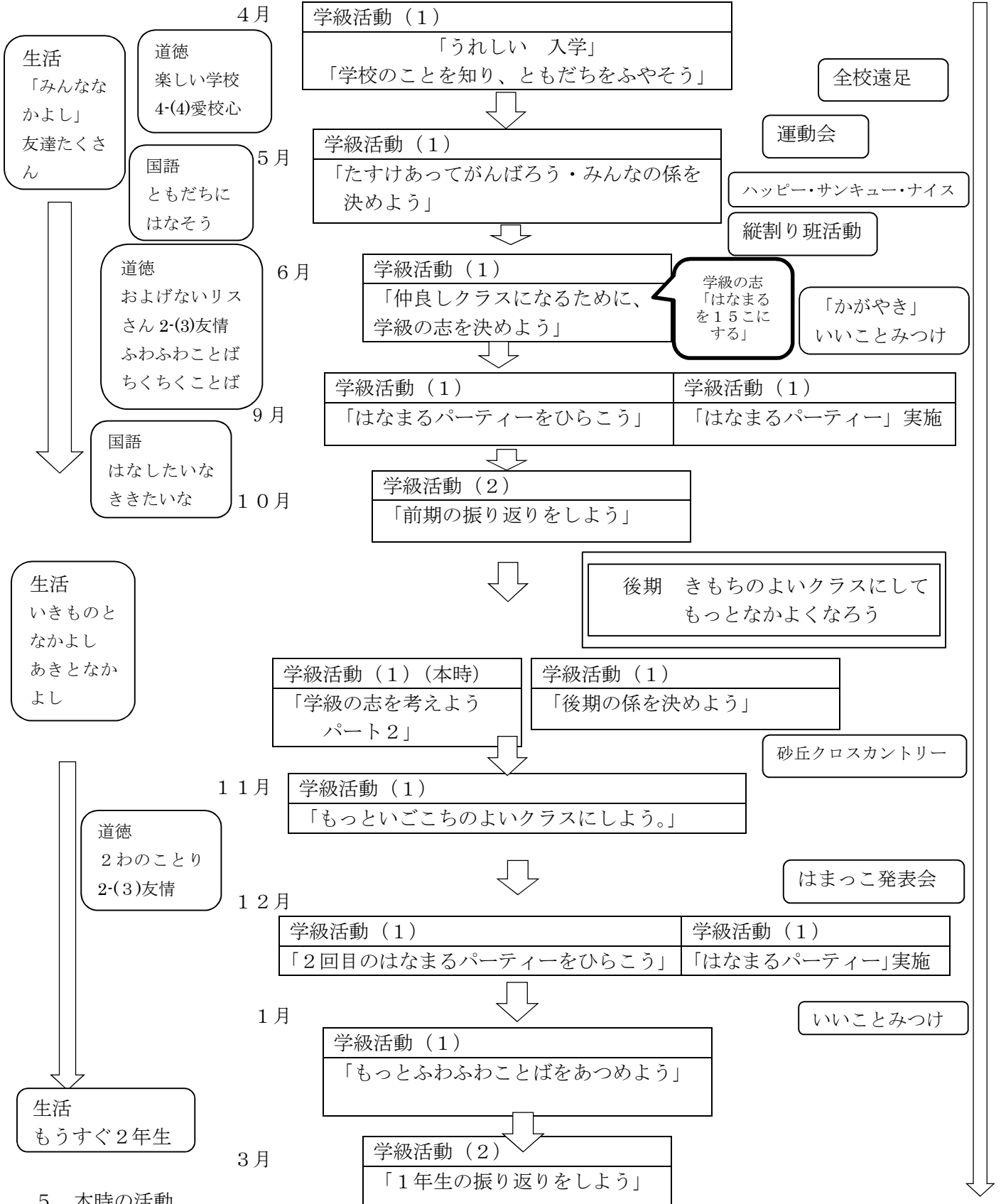
4 活動計画

学年目標『みんな なかよし』

学級目標 みんななかよし すなおなこ
前期 なかよくなるろう

〈教科・道徳〉

〈特別活動・連携〉



5 本時の活動

(1) 本時のねらい

学級の志を決めることを通して、話し合い活動に意欲的に取り組もうとしている。

(2) 本活動の評価の観点

観点	本時のめざす子ども像	評価方法
関心・意欲・態度	議題に対して、進んで意見を述べて、話し合いに意欲的に取り組もうとしている。	発表・行動観察

(3) 準備 司会進行手引き・学級会カード・提案理由の紙・話し合いカード・学級会グッズ

(4) 学習過程

議題	がっきゅうのころごしをきめよう パート2		
提案理由	一つ目の志を達成して、みんなが時間を守れるようになりました。次の志を決めてみんなで力を合わせて頑張ると、〇年〇組が今よりもっとレベルアップできると思ったからです。		
本時のめあて	自分の意見を1度は発表し、すすんで話し合いをしよう。		
話し合いの順序	児童の活動	教師の支援、指導上の留意点 ◎目指す児童の姿【観点】(手法) ※手立て	時間
1 はじめの言葉	・司会が進行する。	・必要に応じて教師が支援する。	2/2
2 話し合いのきまりの確認	・話し合いのきまりをみんなで言う。	・和やかで意見の言いやすい雰囲気をつくるため話し合いのきまりを意識させる。 ① です。ます。～さんをつけて言う②相手の目を見て話を聞く	2/4
3 議題の確認	・司会が議題の確認を行う。	・司会の手引きを見ながら進行できるようにする。	1/5
4 議題設定の理由説明	・提案者が提案理由を説明する。	・学級をより高めていくために志を決めるということを意識させる。	3/8
5 本時のめあての確認	・司会が本時のめあてを確認する。	・条件を確認したり、達成できたら花丸パーティーをすることを伝えたりして、意欲的な活動につなげる。	3/11
6 話し合い 【話し合いの柱】 「みんなでがんばることをきめよう」	・順番に意見を言う。 ・意見の発表ごとに反応を示す。 ・友達の意見を聞いて、安心して気持ちのよい学級になるかどうか考える。	・自分の思いをはっきりと伝え、友達の発表は反応しながら聞いている児童を褒める。 ・志達成の数値設定の参考となるよう、学級会カードをもとに現在の達成度を調べておく。(図書の数貸し出し冊数など) ◎学級の志を決めるために意欲的に話し合いに取り組んでいる。【関・意・態】(発表、行動観察) ※発言しにくい児童には、学級会カードの記述をもとに発言できるよう励ます。 ※決まっていることを確かめながら、意見を整理できるように司会団に助言を与える。	22/33
7 決定事項の確認	・司会が板書を確認しながら決まったことを発表する。	・発表後に拍手が出るように声をかける。	3/36
8 振り返り	・話し合った感想を書く。	・みんなのよかったところや自分の気持ちを書かせて発表させる。	6/42
9 先生の話	・教師の話聞く。	・個人名を挙げながら褒めたり、学級全体のよかったところを褒めたりし、次回の学級会への意欲を持たせる。	2/44
10 おわりの言葉	・司会があいさつをする。		1/45